



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和2年9月9日（水）

木の香るみちづくり 秋田自動車道・秋の植栽 編

平成28年から秋田自動車道横手IC～秋田南IC間供用開始25周年記念事業のひとつ及び休憩施設の景観向上対策として始まった八郎湖サービスエリアと太平山パーキングエリアへの秋田スギ製ハニカムプランターの設置及び植栽活動ですが、毎年恒例事業となり、今年も春（4/24）の植栽に引き続き、9月9日、秋の植え替えを行いました。

9日当日は週間予測上は雨模様で、ちょっと天候的には不安がありましたが、日頃の行い？はさておき、打って変わって晴天に恵まれ、絶好の屋外作業日和となりました。植え替え作業は、10時に八郎湖サービスエリア（上り）に集合し、花まり代表中川さんとスタッフの方、木高研渡辺先生、ネクスコ3名で、鉢の植え替えは中川さんとスタッフの方、渡辺先生、ハニカムプランターの清掃をネクスコと役割分担のもと、春の植栽では、実施後の天候不順等の影響なのか、花の生育にむらがあったこともあり、108の鉢ほとんどを植え替えることとなりました。

今回植え替えた花は暑さと日差しが大好きなアルテルナンテラレッドフラッシュ（アカバセンニチコウ）を始めとした花群で、冬の訪れが感じられる10月末頃までは元気な花を咲かせてくれることを願い、1か所約50分程度の時間をかけて実施しました。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う観光支援事業の「Go to トラベルキャンペーン」により秋田に来られたお客さまが、旅の途中で八郎湖サービスエリア、太平山パーキングエリアに立ち寄られた際に、「ほっと一息」できる癒しの空間を提供できれば幸いです。

文： 大江田 好二



作業開始時には日影があって爽やかな気持ちで動き始めましたが、太平山PAで作業する頃には強い日差しを受け、人も花も水不足気味になっていました。



高さのある木製鉢カバーの特長を生かして、苗は背の高いもの、下に垂れるものなども選んでいます。アルテルナンテラの花言葉は燃え上がった情熱。可憐な白い小さな花と赤い葉がこんもりと茂る日が楽しみです。